



## 中野区

# 中野の新施設 大会の記憶とともにまちの魅力を創出

聖火リレー9日目は2020年7月18日。杉並区から中野区へ、そして練馬区へと繋がれます。当日は土曜日のため、沿道には多くの区民が駆けつけ、応援は一層の盛り上がりを見せることでしよう。6月に開設予定の中野区立総合体育館は東京2020大会の卓球の公式練習会場として、区のスポーツ振興の中心となる施設にふさわしい幕開けを迎えます。

### スポーツの輪を広げる 開かれた施設

中野区では現在、区民のスポーツ・健康づくりの場としての機能、憩いの機能、防災

機能等、公園全体の機能向上を図るため、平和の森公園の再整備が進められています。

2018年12月、公園内へ新たに建設する中野区立総合体育館が東京2020大会卓球競技の公式練習会場になることが決まりました。新体育館は今年5月に竣工、6月中旬にオープニングイベントの実施が予定されています。完成披露のイベントにはオリンピック、パラリンピアンを招く予定です。お祝いムードに加え、大会への期待と興奮が一層高

まります。その後、7月から公式練習会場として使用され、パラリンピックの卓球競技の終了後、一般利用を開始する予定です。

新体育館のコンセプトは、自然に寄り添う「みどりのなかの体育館」。広大な敷地に運動場と大小の広場、ドッグランを備え、豊かな水辺と緑にあふれる平和の森公園の自然環境とマッチするよう、メインアリーナの天井や内装、外装には木材がふんだんに使用されます。落ち着きあるシックな外観が特徴的な施設は、メインアリーナとサブアリーナを中心に多様な公式競技に対応した機能と設備を備え、かつ、区民の通常利用としても使いやすく設計されています。

す。公園の一部として建物の前に広がる草地広場と一体化できる開放的なテラスがあり、外からの利便性を考慮してテ



中野区立総合体育館 完成予想図(メインアリーナ)

ラスと隣接した場所にカフェもつくられます。トレーニングのための充実した設備に加え、リラククスできる環境が備わった新しい体育館は、各国の選手たちの総合的なコンデイションニングをサポートするにふさわしい施設となっています。館内にはボルダリングができるクライミングウォール、自然光を取り入れた明るく広々としたトレーニング室など、区民にとっても利用が楽しみになる設備が整えられます。今後は様々な競技の大会がこの体育館を会場に開催される見通しで、体育館を含めたこの公園には、スポーツを通じたコミュニティの核としての役割が期待されています。

## 「ONE NAKANO」で盛り上げよう！スポーツの祭典

東京2020大会を契機に、区民一丸となって「する」「観る」「支える」スポーツを推進するため、区が開催するスポーツイベントに「ONE NAKANO」というフレーズを冠しています。

区では障害者スポーツを盛り上げるための施策に力を入れており、オリンピック・パラリンピック関連イベントにはすべて障害者スポーツをテーマにした企画が盛り込まれています。昨年、行われた「3×3」競技の観戦イベントでは車椅子バスケットボールのデモンストレーションと体験が行われました。また、体育の日に行われたスポーツ体験イベントでは、ボッチャや5人制サッカーの体験ブースを設け、広く参加を募り、障害者スポーツに対する区民の理解を深めました。前述の中野区立総合体育館のサブアリーナの床材は、多様な障害者ス

ポーツやニュースポーツ等を行うことが可能なスポーツフロアが採用され、全館が完全バリアフリー化されています。「する」スポーツを創出することができる利用価値の高い公施設は、日常に溶け込み、区民のスポーツ健康づくりやスポーツ活動の充実に貢献することでしょう。



3人制バスケット3×3(スリー・エックス・スリー)競技観戦イベント

次に、「観る」は、観戦体験の魅力を高める場として、パブリックビューイングを企画しました。これまでに、2018 FIFAワールドカップロシア、そして日本中を熱狂させたラグビーワールドカップ2019日本大会で実施しました。こうした催しを自治体が主催することは珍しく、会場はすぐに満員となり、500人もの観客が興奮と歓喜の瞬間を分かち合いました。区は、パブリックビューイングを東京2020大会でも実施して、大会を盛り上げていきたいと考えています。



実行委員の活動  
(ラグビーワールドカップ2019日本大会パブリックビューイング受付)

最後に、区民等で構成する「中野区オリンピック・パラリンピック推進実行委員会」は「支える」取り組みの象徴的な存在です。公募で選ばれた年齢も職業も様々な17名が参加し、オリンピック・パラリンピック関連事業の企画立案・運営に協力しています。大会後も実行委員会のつながりは、区内スポーツ振興の活性化に寄与していくことでしょう。



実行委員の活動 (東京2020大会開催1年前イベント案内)